



健康寿命をのばそう!  
Smart Life Project

Smart Meal

スマートミール



公益社団法人 日本補綴歯科学会  
Japan Prosthodontic Society

## PRESS RELEASE

公益社団法人 日本補綴歯科学会・「健康な食事・食環境」コンソーシアム 共同プレスリリース資料

# 日本補綴歯科学会が「健康な食事・食環境コンソーシアム」に参加することが決定

公益社団法人 日本補綴歯科学会 理事長

市川哲雄

「健康な食事・食環境」コンソーシアム 世話役

特定非営利活動法人 日本栄養改善学会 理事長

武見ゆかり

### 概要説明

日本補綴歯科学会は、日本栄養改善学会が主導されている「健康な食事・食環境」コンソーシアムの主旨に賛同し、歯科の学会で初めて本コンソーシアムに参加を表明することをお知らせ致します。

本コンソーシアムは、日本栄養改善学会が中心になり、国民の健康寿命の延伸を目的に、栄養学を基盤とした実践活動とそれを支える研究を推進されており、平成 29 年より、生活習慣病予防のための社会環境の整備として、「健康な食事・食環境」推進事業に取り組んでおられます。本活動は、厚生労働省 健康日本 21(第二次)の目標の1つであり、Smart Life Project の 4 つのアクションの一つでもあります。また、第 3 次食育推進基本計画の目標でもある「主食・主菜・副菜を組合せた食事が 1 日 2 回以上の日がほぼ毎日の者の割合を増やす」を応援するものです。

この様な多品目の食事を摂取することは、生活習慣病予防のみならず、認知症予防や虚弱予防においても重要な観点とされておりますが、これを可能とする口腔機能を育成し維持することが相まって初めてこの効果が全国民に確実に享受されるものと思われまます。この様な観点から、咀嚼機能維持向上を目指す歯科学術団体として、日本補綴歯科学会が初めて本コンソーシアムに参加することは大変時期を得た意味あるものと考えまます。

この度、この様な活動を広く医療従事者や国民に広報差し上げるために、下記の通り、日本補綴歯科学会と「健康な食事・食環境」コンソーシアムの共同記者発表を行いたく存じます。ぜひ、ご参加いただき貴社の媒体にてご紹介いただければ幸いです。

報道解禁：平成 31 年 3 月 8 日（火）17 時

「健康な食事・食環境」コンソーシアム参加団体

(2019 年 3 月現在)

日本栄養改善学会（世話役）

日本給食経営管理学会（副世話役）

日本高血圧学会

日本糖尿病学会

日本肥満学会

日本公衆衛生学会

健康経営研究会

日本健康教育学会

日本腎臓学会

日本動脈硬化学会

日本補綴歯科学会

# 誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指して

～健康寿命の延伸に向けて日本補綴歯科学会は「健康な食事・食環境」コンソーシアムに参加します～

**Smart Walk**  
毎日10分の運動を+

**Smart Eat**  
1日あと70gの野菜を+

**Smart Breath**  
禁煙でタバコの煙を-

**Smart Check**  
健診・検診健康チェックで◎

健康寿命をのばそう!  
Smart Life Project

## 【厚生労働省】

### 健康寿命延伸プラン策定中

○2040年の健康寿命延伸に向けた目標と2025年までの工程表

- ①健康無関心層へのアプローチの強化
- ②地域・保険者間の格差の解消により、以下の3分野を中心に、取組を推進
  - ・次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等
  - ・疾病予防・重症化予防
  - ・介護予防・フレイル対策、認知症予防

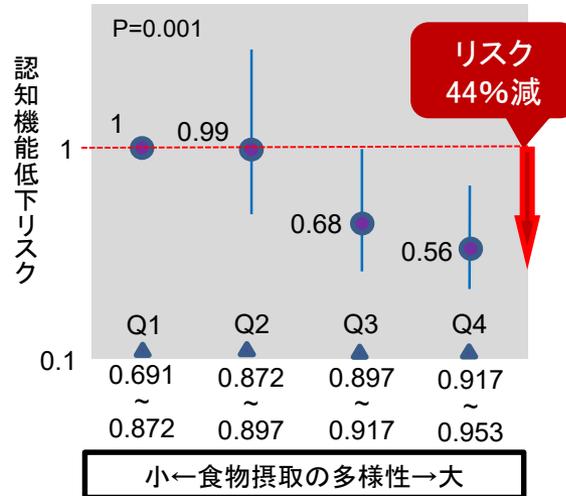
●歯を失うと、非デンプン性多糖類、タンパク質、カルシウム、非ヘム鉄、ナイアシン、ビタミンCの摂取量が減少

(引用: Sheiham A et al., J Dent Res., 2001)

●歯を失うと、野菜、食物繊維の摂取が減少、血清中のβカロテン、葉酸、ビタミンCが減少

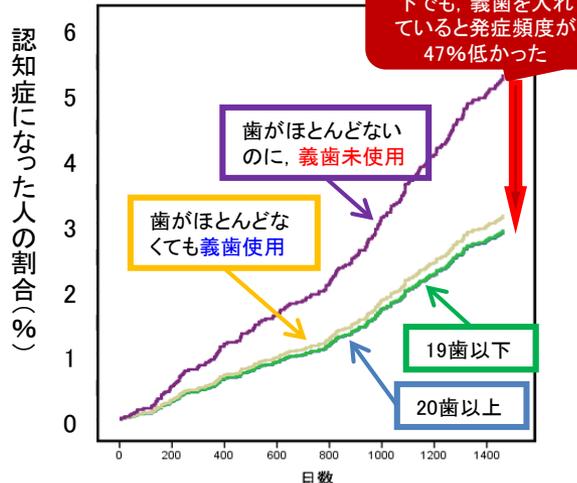
(引用: Nowjack-Raymer RE, et al., J Dent Res., 2003; Yoshida M et al. Geriatr Gerontol Int., 2011)

●食物摂取品目が多いと認知機能低下リスクが有意に減少



(引用: 日経メディカル, No.596, 2017; Otsuka R et al. Geriatr Gerontol Int., 2017)

●自分の歯が少なく、義歯を入れていないと認知症になり易い



(引用: Yamamoto T et al., Psychosomat Med., 2012)

- 歯の欠損→栄養バランスの悪化→フレイル, 認知症の構図がある
- 無意識のうちに、食物摂取の多様性を担保できる社会を構築(スマートミール認証制度)
- 食物繊維等を良く噛む→メタボリック症候群への対策
- 低栄養の阻止による介護予防・フレイル対策
- 口腔機能の維持・向上がこの食物摂取の多様性をサポートするだけでなく、脳機能の賦活というプラスα →認知症予防

## 歯科の学会として初めて栄養関連学術団体と協働、エビデンスの創出と発信 「健康な食事・食環境」コンソーシアム

- 日本栄養改善学会(世話役)
- 日本給食経営管理学会(副世話役)
- 日本高血圧学会
- 日本糖尿病学会
- 日本肥満学会
- 日本公衆衛生学会
- 健康経営研究会
- 日本健康教育学会
- 日本腎臓学会
- 日本動脈硬化学会
- 日本補綴歯科学会